

府政報告 日本共産党京都府会議員団

No. 1885 発行 2006年12月22日 TEL 075-414-5566 FAX 075-431-2916 E-mail giindan@jcp-kyotofukai.gr.jp

- 12月15日の本会議で、他会派が行なった、議案についての討論の概要をご紹介します。

■田中英世（自民党、京丹後市）2006年12月15日

共産党修正案を除き、賛成。決算だが、景気回復の基調を受け税収は持ち直しつつあるが、地方交付税の減少、少子高齢化の進行、環境問題、医療福祉、児童虐待対策などの行政課題に対処するための財政負担の増加、団塊世代退職の退職手当急増を考えると府政を取り巻く環境は極めて厳しい。

平成17年度は、府民価値の視点から徹底した行政経営改革を進め、財源確保に努め、財源を効率的効果的に還元する観点から、安心・安全づくり、人・地域づくり、活力づくり、交流基盤づくりを積極的に進めると共に、災害対策事業やアスベスト、KTR、安全対策などの緊急対策にも適格に対応され、黒字決算を確保されたことを評価。

今回の補正予算は、児童虐待や、いじめ問題などの緊急課題に積極的な対応、和装産地の職人の仕事作り支援など今日的課題にすみやかに対応するもので、時期にかなったものとして評価。

長岡京市での事件を受け知事は緊急総点検の実施や外部有識者による検証委員会の設置、今回の補正も提案されており速やかな対応を評価する。再発防止に全力で取り組むよう求めると共に、家庭への立入り調査権限についての法整備についての国への要請を求める。

警察職員の定員条例の一部改正は、治安情勢が依然として厳しい状況にあるなか、交通巡視員の身分切り替えで、現場警察官を130人増員することにより現場警察力の強化に強めようと言うものであり、安全・安心に大いに資するものであり賛意を表する。

認定こども園の認定の基準に関する条例制定に対する共産党の修正案だが、共産党は、民間性悪説に立って民間が参入することはけしからんと言うことをベースに、幼児教育の現状を無視し、必要以上の規制を求めるものであることから、結果的に利用料という形で、保護者負担が大きくなる可能性や、地域の実情に応じた運用を妨げること、また、市町村と都道府県の役割分担を無視した提案であるなど、多くの問題を抱えています。

以上の点から共産党の修正案には反対であります。

知事提案の条例案は、国の基準に加え、積極的に情報開示、市町村からの意見聴取等についても規定をし、就学前の子どもに関する教育、保育、子育て支援の総合的な提供を推進しようと言うものであり、賛成するものでありますが、その運用にあたっては、まさに制度創設の目的である、子どもの視点に立って、子ども達が健やかに成長できるよう環境整備にいつそう努められるよう要望しておきます。

以上申した以外の提案についても、必要なものであり、賛成。

■北尾茂（民主党、城陽市）2006年12月15日

全ての議案に賛成する。

決算だが、17年度の財政状況は、歳入で企業業績の回復で、府税収入2784億円、前年比400億円超を確保したが、地方交付税等は厳しい削減が行なわれた16年度の水準。歳出は、8729億円と前年に比べ大幅増。これは、災害復旧費や国保助成費の増加等、緊急対策や義務的要素の強い経費。その結果、依然として厳しい状況下での財政運営が余儀なくされたと理解。

このような中でも知事は、職員定数削減、給与の抑制、施策の積極的な見直しを進め、電子府庁の推進、公有財産の利活用、外郭団体の経営改善等あらゆる分野で経営改革を推進してきた。一方、府民の安心・安全、教育福祉施策の推進、府域の活性化等府民生活の安定向上と魅力ある京都づくりにつながる諸施策に積極的に取り組んだ。行政手腕を高く評価、府政運営の努力に敬意を表し、決算に賛成する。

補正予算の、いじめ問題相談体制充実の予算は、いじめで自殺する事件が相次いでおり極めて的確な対応。事業の効果に期待する。

児童虐待対応緊急対策事業費は、長岡京市の事件を踏まえ、相談案件の総点検の更なる充実と市町村との連携強化の内容とする迅速的確な措置。

和装関連産業への緊急対策の予算は、匠の公共事業を前倒し実施し、職人の仕事作りを切れ目なく確保するものであり、工夫を評価。

警察職員の定員に関する条例一部改正は、現場警察力の充実とともに、助成警察官の大幅な増加により、DVや児童虐待のケースに大きな期待ができるものであり、安心・安全確保に大きく資するものとする。

認定こども園の条例について、共産党修正案に反対、原案に賛成。認定こども園の法律に基づくものだが、法は既存の幼稚園、保育所の教育、保育機能を活かしながら、保育に欠ける、欠けないといった現在の幼稚園、保育園制度の隙間に生じる問題に対応をすることを趣旨として掲げている。

しかし、共産党の修正案は、職員配置については完全に保育園の基準に一元化し、幼稚園が現在提供している機能の活用という点が考慮されていない。また、幼稚園、保育所とも、受け入れる子ども達の数が減ってきている過疎地などでは、子育てに必要な集団を形成する上で既存の幼稚園や保育所等の有効な活用が子ども達の育ちという観点からも重要であります。

しかし、共産党の修正案では、建物などすべて同一敷地内、または、隣接敷地内でなければならないとされており、既存施設を活用した効果的な子育て支援を活用した認定こども園は認定されないという結論に至るのであります。また、共産党の修正案には、都道府県の定める認定基準に市町村が独自に補助を行なっている際の職員配置基準を持ち込む等、認定と財政支援を混同した視点も見受けられます。市町村が府の統一的基準をクリアした施設にさらに職員を加配した場合に上乗せ補助をすることと統一的な基準の問題は本来全く別の問題なのであります。

総じてどの点を取っても修正案には問題があり反対するものであります。

一方知事提案案の条例案については、安心安全の確保や積極的な情報開示の仕組み、認定にあたっての市町村からの意見聴取等、法の立法趣旨に沿いながら、尚かつ京都府の創意工夫を読み取れるものであります。条例の施行にあたっては、子ども達の育ちや子育て、家庭をしっかりと支える適切な教育、保育サービスが提供されるよう要望すると共に、今後の子育て支援にとって、この条例が出発点となるよう切に願うものである。

その他の案件にも賛意を申し上げる。

統一地方選まで4か月を切った。民主党府民連合議員団は、一致団結し、引き続き山田府政を支え、21世紀にふさわしい魅力ある京都作りに邁進する決意であることを表明する。

■村井弘（公明党、宇治市・久世郡）2006年12月15日

全ての案件に賛成。

決算認定についてだが、経営改革や施策の集中と選択等により限られた予算で府民ニーズに応えたものと判断。しかし、財政環境が厳しいときであり、今まで以上に行財政改革に取り組むよう要望する。

補正予算だが、長岡京の件では関係部局と検討委員会の検討結果を踏まえ、府庁全体、京都児童相談所の相談、業務のあり方を再構築する必要がある。補正予算は、検証結果を待たずに児童虐待対策の一環としての取り組みをできるだけ早く進めるもので評価する。

情報の共有化が大切だが、知識としての共有でない、即応性のある緊張感の伴った共有化が必要で、責任と使命感ある自覚の強化ができる取り組みを要望する。

いじめ相談体制充実事業、教員のいじめ問題対応力向上に大きな力となる。教師の感性の鈍化が指摘される昨今、いじめ問題に対する教師の感性の強化になるもので期待する。

和装関連産業への緊急対策は、従来から厳しい上に流通販売店の倒産による製造業者の被害拡大を回避すべき。職人への被害を防ぎ、仕事量の確保が早急に必要で、匠の公共事業の前倒し発注は有効だが、あくまでも緊急防止策としての効果だ。抜本的対策による販売拡大が必要。

認定こども園の認定基準の条例だが、認定こども園は、都市部における待機児童の問題、過疎地における就学前施設の定員割れ問題等を解消するために、保育所と幼稚園がそれぞれ持つ機能を組み合わせ、地域の実情にあった子育て支援事業を行なおうというものです。そのために、幼保連携型、幼稚園型、保育園型、地方裁量型等それぞれ特徴を持たせた運営形態が選択できるなど柔軟性ある取り組みを支援できる条例とする必要があります。

その観点から、本府提出の条例案は、職員の配置を5つに分類し、保育人数も一定の目安として

柔軟性を持たせ、地域の実情にあった運営形態が選べるようになっていきます。

このことにより、幼稚園、保育所がそれぞれ持つ課題を解決し、また、新規参入がしやすい内容となっている点等、認定こども園の趣旨に資した条例案であると評価できます。よって、原案に賛成です。

一方、日本共産党の修正案は、職員の配置を4つに分類した上で、保育人数も固定する等、柔軟性に欠けており、幼稚園に対する配慮がたりません。これではとても、都市部における待機児童問題や過疎地における定員割れ問題に対応できるとは思えません。認定こども園の趣旨に適していない案になっているため反対します。

交通巡視員の身分切り替えによる警察官の増員は府民の安心安全の確保に必要。女性警察官の増員で、現場警察官の増員にとどまらず、DVや子どもの虐待事件等きめ細かな対応が必要な事案に対処できる等期待ができる。ただ、能力向上が必要であり、しっかりとした取り組みを要望する。

他についても賛成。本府を取り巻く緊急課題のため予算措置を取る山田府政を評価するとともに、現地現場主義が府民目線となるよう、私どもは、清潔現場主義で府政運営に協力することを表明する。